



株式会社第一電熱

2023 年度 環境活動レポート

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



作成日： 2024年5月13日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営システム組織図	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12



株式会社 第一電熱

環境経営方針

<基本理念>

当社は、生産・消費・廃棄という経済システムの中で自然環境への影響・負荷を低減すべく社員一人一人が目標を持ち、一丸となってエコ活動に貢献します。

<基本方針>

- 1．環境を常に配慮し、明日の資源保護に努めます。
- 2．環境保全を通じ、地域社会の一員としての責任を担います。
- 3．法的規制事項を遵守し、環境保全の維持管理に努めます。

<重点実施項目>

- 1．製造工程廃棄物対策（排出量削減、リサイクルの推進）
- 2．二酸化炭素排出対策（二酸化炭素排出量削減）
- 3．資源、環境の保護（水使用量の削減）
- 4．グリーン購入（環境配慮の材料使用）
- 5．環境保全のための認識を社員教育から取組む

大阪府和泉市あゆみ野3丁目1-77

株式会社 第一電熱
代表取締役社長 **多胡 浩志**

制定日 2006年6月20日

改定日 2018年6月1日

□組織の概要

更新日：2024年4月19日

(1) 事業者及び代表者名

株式会社第一電熱
代表取締役社長 多胡 浩志

(2) 所在地

本社・工場 大阪府和泉市あゆみ野3丁目1-77

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役常務	登 智栄
担当者	品質工程管理部部長	伊藤 栄
連絡先	電話	0725-51-3735
	FAX	0725-51-3736

(4) 事業内容

液晶、PDP、クリーンルーム用装置の製造・販売

(5) 事業の規模

製品受注額	43.4 億円	(令和5年度)
主要製品生産量	ステンレス製品	538t/年
	鉄製品	337t/年
	その他金属製品	3t/年
従業員数		47名
工場面積(延計)	事務所	100㎡
	敷地	14187㎡
	工場建物	6484㎡

(6) 事業年度

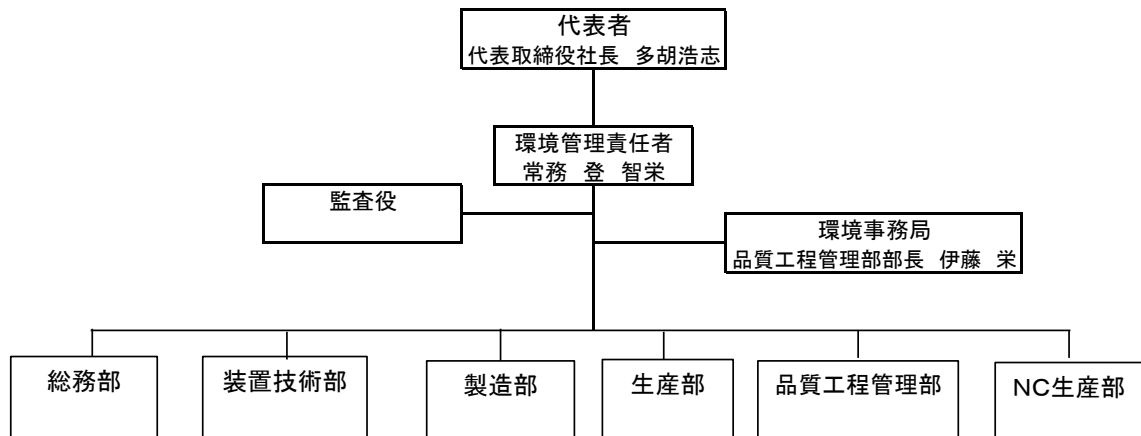
4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：	株式会社第一電熱
対象事業所：	本社・工場
関連事業所	なし
対象外：	なし
対象活動範囲：	液晶、PDP、クリーンルーム用装置の製造・販売

□株式会社第一電熱 環境経営システム組織図

更新日：2021年6月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめに基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された緊急事態への対応手順書作成、テスト、訓練、記録 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・環境経営目標、環境活動へ参加 ・問題点の発見、是正、予防処置

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	236,117	320,166	410,614
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	6,875	9,755	17,280
産業廃棄物排出量	Kg	5,570	8,750	8,150
水使用量	m ³	469	493	862

※二酸化炭素排出係数 0.45 kg-CO₂/kWh 電力会社(エネット)の調整後の係数(2020年度)

※一般廃棄物には、活動に挙げていない「段ボール」、産業廃棄物には「木くず等」を含む。

□環境経営目標及びその実績

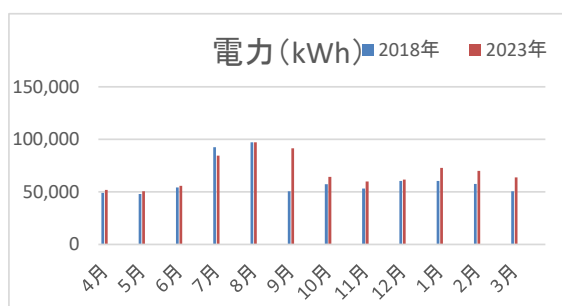
項 目	年 度	基準値	2023年		評 価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	325,568	312,545	370,857	×	309,289	306,034
	基準年度比	2018年	96%	114%		95%	94%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,891	1,816	1,801	○	1,797	1,778
	基準年度比	2018年	96%	95%		95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,895	23,152	37,957	×	22,903	22,654
	基準年度比	2015年	93%	152%		92%	91%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	352,354	337,513	410,614		333,989	330,466
一般廃棄物の削減	kg	10,370	10,059	8,480	○	9,955	9,852
	基準年度比	2019年	97%	82%		96%	95%
産業廃棄物(廃プラ)の削減	kg	4,050	3,929	3,480	○	3,888	3,848
	基準年度比	2019年	97%	86%		96%	95%
水道水の削減	m ³	984	915	862	○	905	895
	基準年度比	2015年	93%	88%		92%	91%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	35%	40%	○	35%	35%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	残念ながら年間目標は未達成であった。原因は年間通して大型装置の受注が継続しており就労時間の増加に伴い電力消費量が増加したと考えられる。空調温度の適正化及び不要照明の消灯の取組み定着はできている。 工場本館屋根にパネル数2019枚の太陽光発電システムを備えており、電力会社へ60万kWh以上売電していることから、CO2の削減に大きく貢献している。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房19℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・生産工程の待機時間短縮	△	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・太陽光発電の活用	○	

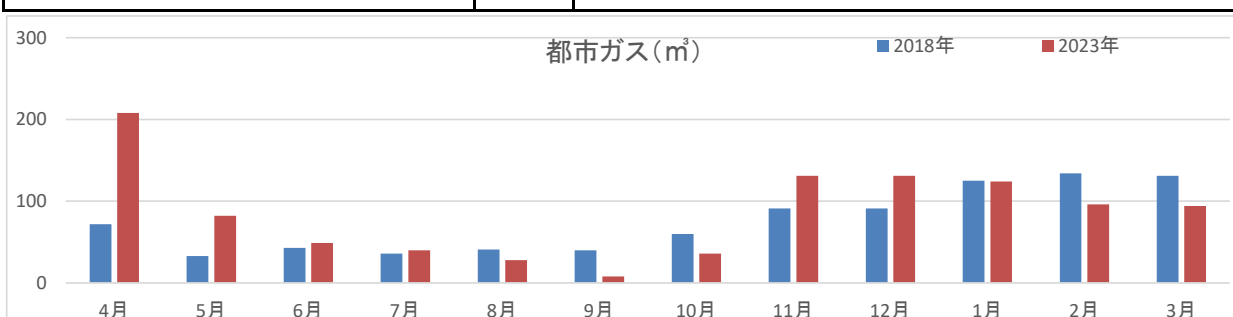


取組紹介欄



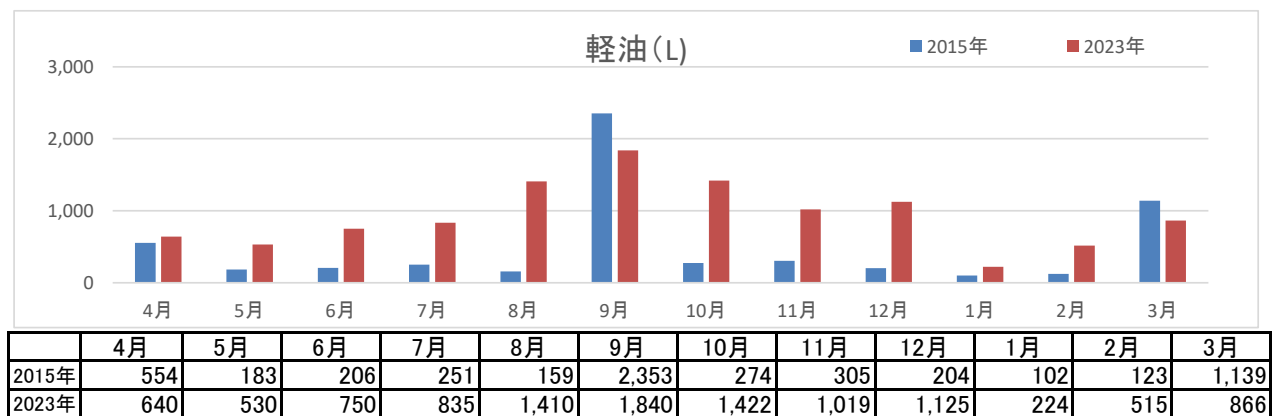
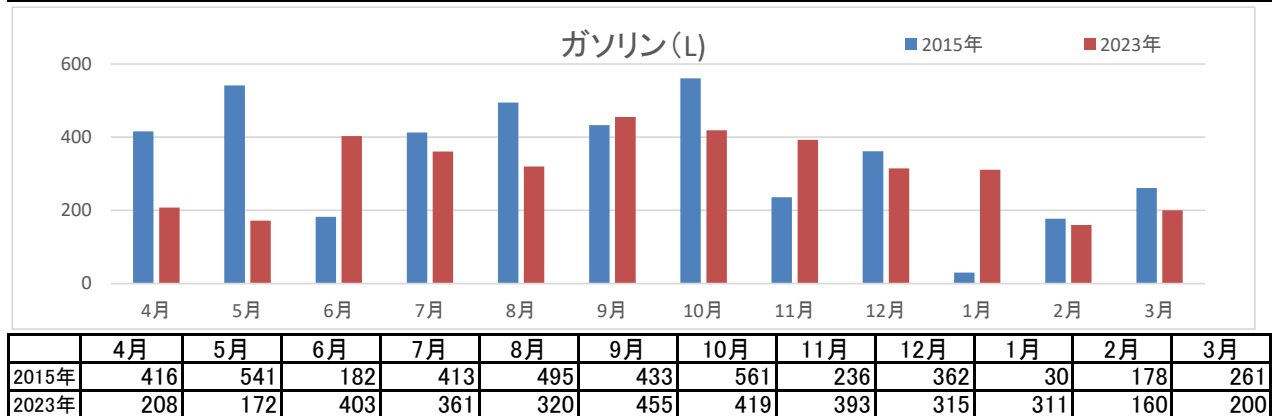
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	49,122	48,049	54,195	92,471	97,278	50,468	57,337	53,063	60,456	60,456	57,458	50,565
2023年	51,919	50,572	55,835	84,522	97,197	91,478	64,414	59,904	61,828	72,869	69,873	63,715
2023年売電	59,883	69,254	56,146	72,351	64,743	55,843	47,477	33,171	29,776	30,881	33,511	48,919

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	洗浄工程のある装置の受注が多くなり、温水の使用が増えた事が原因だと考えられる。暫く温水を使用しない時間が継続する時は種火を消す等考える事も必要だと考えられる。
・温水温度の適正化	○	
・		
・		
・		

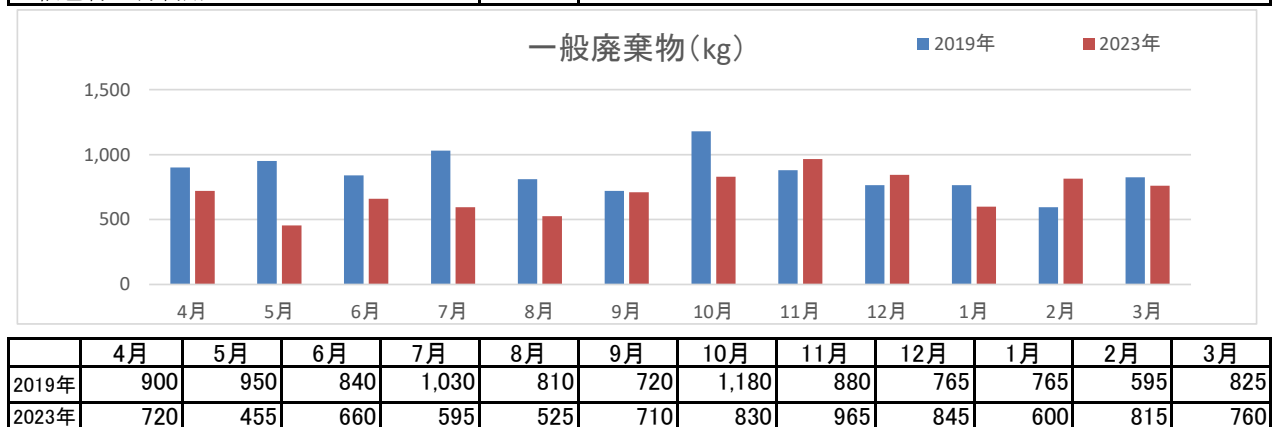


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	72	33	43	36	41	40	60	91	91	125	134	131
2023年	208	82	49	40	28	8	36	131	131	124	96	94

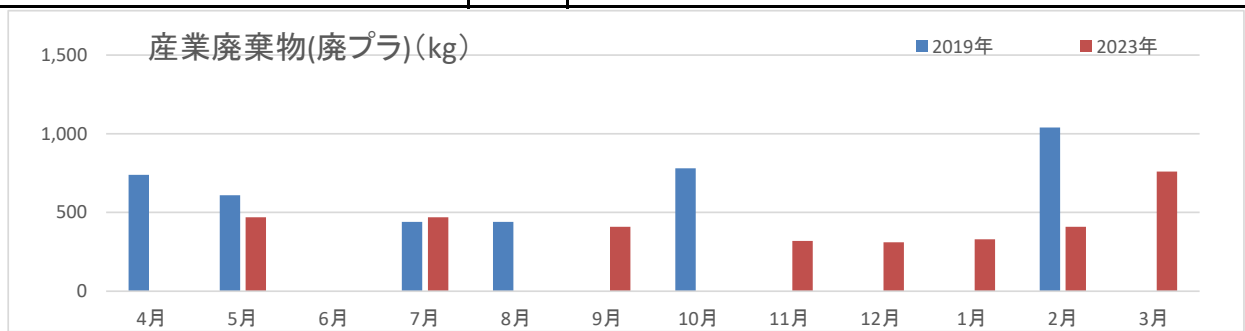
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ガソリンについては、出張時の相乗り車両を引き続き活用し、公共交通機関の利用も選択すること。本年度もweb会議の回数が増加し、出張会議が減少した事も目標達成の一因と考えられる。 軽油については、年間通して装置の試運転の為発電機用の燃料消費量が増加した。装置の受注が継続される見込みから、暫くこのまま推移すると思われる。
・アイドリングストップ	△	
・出張時の相乗りを推進すること	○	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	一般廃棄物(可燃ごみ)の袋に紙類が混ざっていることがある。ゴミ捨て時には必ず分別するように心掛けること。1袋単位で廃棄費用が発生する為、可能な限り詰め込んで量を少なくする事が課題である。
・分別の徹底	○	
・コピー用紙の裏面使用	△	
・CAD, Excelデータ活用による印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	

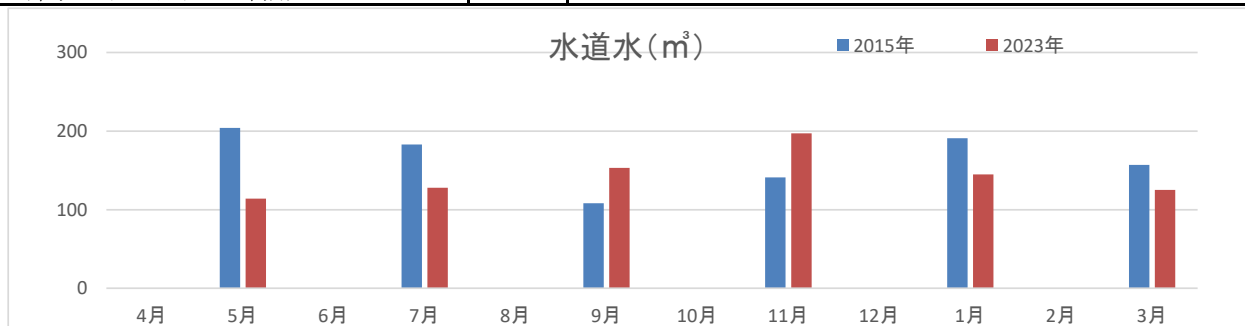


産業廃棄物(廃プラ)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	毎月発生するものではないので基準年との月次評価は特に気にする必要はなし。しかしながら削減できる箇所があるか検討する必要があり、産業廃棄物とリサイクル可能材とを分別する事で削減を心掛けること。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	740	610	0	440	440	0	780	0	0	0	1,040	0
2023年	0	470	0	470	0	410	0	320	310	330	410	760

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	9月と11月は単月未達成だったが、年間目標は達成出来た。引き続き節水に取り組むこと。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	
・節水弁取り付け	△	
・自動水栓取り付け	△	
・節水タイプトイレの利用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	0	204	0	183	0	108	0	141	0	191	0	157
2023年	0	114	0	128	0	153	0	197	0	145	0	125

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	事務用品については、引き続きグリーン購入の推進をしていく。特に、同価格・同性能の物は率先してグリーン購入を優先させること。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	各項目の達成が生産性向上及び品質改善に直結するので重要項目として取り組むこと。
・稼働率向上	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄率削減	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、木くず等）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
水質汚濁防止法	油類の保管、有害物質の取り扱い
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
消防法（危険物）	危険物の保管
振動規制法	空気圧縮機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間において、外部からの苦情は無し。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 引火性物質流出事故の発生	
■実施日： 2023年9月29日	■実施場所 本社工場
■参加者： 伊藤、西崎、松本、寒川、森、藤本	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 容器の移し変え作業は、全員こぼさず実施できた。 但し、訓練という事で意図的にこぼして、拭き取り作業及び処分過程までを訓練した。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月11日

【前回の指示への取組結果】		
前年度の見直し・支持は特になし。 継続して環境問題に取り組むこと。		
<		

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

- ・環境活動の実施
平成15年よりエコアクションの認定を受け、エネルギーの使用削減を重点取組項目とし、社員全員での環境負荷低減活動を実施。
- ・地域密着
毎年、クリーンデーの地域清掃活動に参加。

地域主催のイベント参加・地域自治体、団体主催のセミナーへの参加を通し、近隣企業との親交を深め、地域の発展に協力しています。

□編集後記

環境問題に取り組み、削減目標を達成する為に社員全員及び協力会社も巻き込んだ活動であったと思います。
コロナの影響もほとんど無くなり受注量が回復し、それに伴い仕事量が増加し二酸化炭素削減目標未達成となった
しかしながら二酸化炭素削減を意識した活動が出来ていたと思います。